

# 名古屋の 小学生に 古道を紹介

## 三里小・中補修作業も

田辺市本宮町



伏拝王子へ向かうポイントで、歴史や由来を紹介する三里小の児童  
(3日、田辺市本宮町で)

田辺市本宮町の三里小学校、三里中学校は3日、名古屋市の私立南山大学付属小学校の4年生95人とともに熊野古道を歩いた。子どもたちは名古屋からの児童と交流を深め、熊野の宝を紹介した。

午前は三里小6年生10人が同校講堂で5、6年生が取り組んでいる古道学習を紹介した。その後、バスで伏拝地区に移動し、三里小児童が語り部となつて伏拝王子周辺を歩いた。昔の郵便局の役割をしていた伏拝札場、三里富士の由来などを説明した。

午後は三里中1、2年生25人が先生役となり、同付属小児童とともに三軒茶屋跡近くの古道延長300mの修復をした。生徒が指導し、全員で道に土を入れて踏み固める作業で1時間汗を流した。

語り部をした三里小6年の平野友陽君は「古道が好きなので、この機会を楽しみにしていた。語り部はちゃんときたと思う」、古道修復をした三里中2年の東香奈子さんは「児童を指導するのは大変だったけど楽しかった」と話した。

同付属小は2日から紀南地方を訪問。熊野那智大社などを見学し、4日は串本を訪れた。